

# ”図書館に人を呼ぶ！”取り組み紹介

## 1. 図書館で行った取り組み（行う予定の取り組みを書いてもOK!）

### 内容・テーマ：移動図書館

昨年の司書部会「妄想図書館」で出た意見「移動図書館」を今年度より実践している。キャリーケースを買ってきて、本をつめて校内を週に1度巡回している。本校は図書館が独立していて、特に中学・特進のクラスから図書館まで5分程度かかる。主にその遠い館へ行き、貸出と返却を行う。



## 2. 工夫したポイント

運べる本に限りがあるので、なかなか見に来た生徒の好みに合う本を準備できず貸出は少ないが、各クラスを回って「図書委員です」と声をかけると「あ～、返したい本があるから待って!」と呼び止められ、かなりの数の延滞を減らすことが出来た。時間が出来てフラッと立ち寄っても、今までは本を延滞して貸し出しできない生徒がいたので、貸出増加に繋がった（と思う）。

また、遠い館の生徒達は図書館を忘れがち。図書館を印象づけることができたのでは？

## 3. 結果・次回への反省

反省点としては、回る生徒によって結果が大幅に違い、恥ずかしがって声を出せない生徒がいる。声をかけないと、小さいキャリーケースでは目立たないので人が集まらず、やる気を失っているようだ。声を出さなくても「毎週水曜は移動図書館がくる」と定着していれば良かったのだが…私の宣伝不足&褒め足りなかった？

（たぶん移動図書館がイヤになってしまった）生徒から、①2学期からは、巡回せず、選択教室を使って「昼休みだけ図書館」を作ろう！という案、②全校生徒にどんな本を持ってきて欲しいかアンケートをとろう！という意見が出ている。

もう一点、昼休みに図書委員に回らせているので、ご飯を食べて重いキャリーバックを遠い館まで運んでいると、時間がなくなってしまって留まっている時間は10分あるかないか。①の意見なら、もうちょっと意味のあるものになるかも…

〈司書部会に参加して〉3の反省点に関して、生徒にもエプロンをつけさせれば図書委員だと分かってもらえるのでは？という提案があったので、是非実践してみたい。①の「昼休みだけ図書館」に関しては、会議にしたら却下。教室を使うとなると厳しい。移動図書館を何とか続けたいのだが。